

授業科目名 <英訳>	インド古典学(特殊講義) Indological Studies(Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 藤井 正人					
配当 学年	全回生	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	水5	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目	中期ウパニシャッド研究										
【授業の概要・目的】											
ヴェーダ末期からポスト・ヴェーダ期にかけて作られた中期ウパニシャッドから重要なテキストを取りあげて、ヴェーダ(ブラフマニズム)と、それに続く文献と思想(ヒンドウイズム)との関係を検討する。											
【到達目標】											
中期ウパニシャッドの内容を詳細に検討することによって、ブラフマニズムからヒンドウイズムへの移行と両者の併存状況に関する理解を深める。											
【授業計画と内容】											
『カタ・ウパニシャッド』を読む。このウパニシャッドは黒ヤジュル・ヴェーダのカタ(カータカ派)に所属するポスト・ヴェーダ期のテキストである。少年ナチケートスと死神ヤマとの対話を中心とし、伝統的なヴェーダ祭式文化を背景にしつつ、さまざまな新しい思想を導入している。 第1回 『カタ・ウパニシャッド』のカタ派の文献伝承における位置とその問題点を概説する。 第2回～第14回 テキストにそって、このウパニシャッドの内容を検討する。 第15回 検討箇所のまとめを行うとともに、このウパニシャッドについて総括を行う。											
【履修要件】											
サンスクリット基礎文法の既習者											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点による。評価に関しては出席を重視し、理解度と積極性を加味する。											
【教科書】											
教材を授業時に配布する。											
【参考書等】											
(参考書) 授業中に紹介する											
【授業外学習(予習・復習)等】											
予習を必要とする。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											